

# まずは利用者登録を



▲利用者カードはその場で発行

ビナレッジとビナスポの利用には、団体・個人ともに利用者登録が必要です。登録は、ビナレッジ・ビナスポ・市民活動推進課窓口で受け付けています。

【登録が必要な方】小学生以上（中学生以下は保護者同伴での登録になります）

【持ち物】年齢や住所が確認できる身分証明書（学生証・運転免許証・えびなカードなど、なるべく顔写真が添付されているもの）

※団体登録の対象は、構成メンバーが3人以上で、代表者が20歳以上である団体です。登録時には、メンバー全員の氏名などが記載された名簿が必要です。

## QRコードの認証

ビナスポでは、市内と市外の方の利用料金に違いがあります（市内には在勤・在学の方を含む）。このほか、65歳以上の方を対象とした「元気65」という料金区分を設けています。そのため、券売機で利用券を購入する際に、登録者の住所や年齢をQRコードで認証するシステムを導入しています。QRコードの添付がない利用者カードをお持ちの方は、スタッフにお声掛けください。



## 団体利用はシステム予約が可能

団体利用については、神奈川県公共施設利用予約システムで事前予約ができます。パソコンや携帯電話からインターネットを利用して予約するほか、ビナレッジ・ビナスポなどに設置の窓口端末からも予約ができます。



▲窓口端末はタッチパネル式

## 施設の利用料金

施設名	利用区分	大人料金	小人料金	元気65料金
				(65歳以上)
プール	1回	400円	200円	200円
	1カ月	4,000円	2,000円	2,000円
	3カ月	11,400円	5,700円	5,700円
トレーニングルーム	1回	300円		150円
	1カ月	3,000円		1,500円
	3カ月	8,550円		4,270円
プール+ トレーニングルーム	1回	500円		250円
	1カ月	5,000円		2,500円
	3カ月	14,250円		7,120円
大多目的室	1時間	100円	50円	50円
小多目的室				
レクリエーションルーム				

※上記料金は海老名市民（在勤・在学含む）の料金です。市外の方は、上記金額の2倍（市外の65歳以上の方は、元気65料金の2倍ではなく大人料金の2倍の金額）の料金となります。

※小人料金は、小学生以上中学生以下が対象。

施設名	利用区分	料金
大多目的室 [800㎡]	2分の1面	1時間 400円
	全面	1時間 800円
小多目的室 [429㎡]	2分の1面	1時間 200円
	全面	1時間 400円
レクリエーションルーム [169㎡]	全面	1時間 300円
多目的グラウンド [1,445㎡]	全面	1時間 無料

# 姉妹都市締結からいよいよ20年

海老名市

白石市

市民活動推進課 ☎(235)4794

## 宮城県白石市

平成6年10月23日に行った海老名市と宮城県白石市の姉妹都市の締結から、ことしで20周年を迎えます。両市はこれまで、文化・スポーツ・教育など、さまざまな分野で交流し、絆を深めてきました。

平成22年には、白石市の姉妹都市である北海道登別市を含めて「三市による災害援助協定」を締結。また、平成23年4月には「家族、姉妹、兄弟、友達」のような関係を築き、さまざまな分野での交流や相互支援関係の強化を目的に「トライアングル交流宣言書」に3市で調印、新たな交流が始まっています。

## 海老名市都市間交流協会

海老名市都市間交流協会は、海老名市・白石市・登別市のトライアングル交流を進める組織で、賛助会員によって構成されています。会員は、宿泊補助やクーポン券の配布などの特典が受けられます。入会方法などの詳細は、同協会事務局（市民活動推進課内 ☎235・4794）へお問い合わせください。

東京駅から東北新幹線で約2時間、西の蔵王連峰と東の阿武隈山系に囲まれた、雄大な自然と清らかな水に恵まれた城下町。市内には小原温泉・鎌先温泉の2つの温泉があり、名所・旧跡も数多く残っています。掘割や水路、蔵が点在する風情漂う町並みを見下ろす白石城は、白石市のシンボルとして平成7年に復元されました。「白石温麺」、「弥治郎こけし」などが有名です。

## 白石市の「えびなの森」

交流の一環として行われている白石海老名姉妹都市交流少年野球大会に、ことしも海老名市少年野球連盟代表団40人が参加しました。代表団は、交流試合のほか、海老名市民が市民視察で白石市を訪問した際に植樹をした「えびなの森」の草刈りを行いました。草刈りは交流試合時に行う恒例行事として、来年度以降も継続していきます。



▲白石城のある益岡公園は桜の名所